



真野小だより

児童数：464名

No. 11

令和2年11月18日発行

学校教育目標『進んで学び合い、認め合い、実践できる子どもの育成』

今年も残すところ、ひと月余りになりました

秋が深まって来ました。11月7日は二十四節気の立冬でした。暦の上では冬の到来です。先日は平年より12日早い伊吹山初冠雪の知らせがありました。

今年も残すところ1ヶ月余りです。例年とは違う84日間の長い2学期となりましたが、この間に積み重ねてきた学習を自分の力として蓄え、新しい年に向かう準備をして欲しいと思います。

保護者の皆様にはいつも教育活動に多大なご協力をいただき、ありがとうございます。また、地域の皆様には、常日頃から子どもたちの見守りを誠にありがとうございます。

人は言葉をあびて育つ

環境が人をつくると言われます。「言語環境」という言葉があるように、子どもにとって言葉も大切な「環境」です。

著書「奇跡と呼ばれた学校」で、「木は光をあびて育つ 人は言葉をあびて育つ」「探究の陰に言葉あり」と言ったのは、堀川の奇跡、探求学習で一躍有名になった元京都市立堀川高校校長・現関西国際大学教授の荒瀬克己氏です。

荒瀬氏は、「人が成長していく上で何よりも大切なもの。しかも、いい言葉、正しい言葉を浴びて育っているかどうかは、大きな問題。」と述べています。

鳴門教育大学教職大学院の久我直人教授のいう「ボイスシャワー」も同様です。

ほめ言葉をシャワーのように浴びた子は、自己有用感(①他者の存在を前提として自分の存在価値を感じることで、②誰かの役に立ちたいという成就感、③誰かに必要とされているという満足感)を高めるでしょう。自己有用感は生きる力につながります。子どもはもちろん、大人でも誰かの役に立っている、自分が必要とされていると感じる場面があれば意欲が出てきます。

自己有用感が高まると、自己肯定感(①自分のあり方を積極的に評価できる感情、②自らの価値や存在意義を肯定できる感情)や社会性が高まります。社会性=人間関係力=大人力ですから、社会性が高まると人付き合いもうまく対応できます。社会性が高まれば、広義の学力も高まります。

人は、人間社会の中でしか生きられません。どんな形であれ、必ず人と関わり合いながら生活していくこととなります。協力・協働しながら、自己実現を図ります。

一方、中国の古典「管子」には、こうあります。

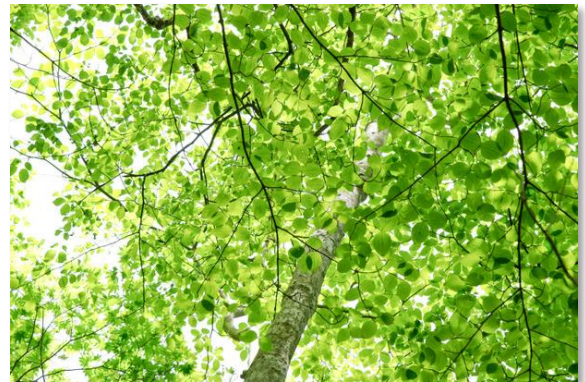
一年を思うものは花を育てよ

十年を思うものは木を育てよ

百年を思うものは人を育てよ

100年生きるかどうかは別として、人を育てるためには、木を育てるよりももっとずっと長い時間が必要だということを示しています。「教育は国家百年の計」とも言われます。やはり人の成長には時間がかかるものです。感情に流されず、辛抱強く取り組むことが大切なのでしょう。ですから、「根負けしたら負け」なのです。

言葉かけも何もかも粘り強く、根気強く、そして、みんなで…。



12月の行事

日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定
1	火	身体測定 5年	22	火	4時間授業、個別懇談会②
3	木	歯科検診 4年 13:30～	23	水	4時間授業、給食終了 個別懇談会③
7	月	委員会活動	24	木	3時間授業、個別懇談会④
8	火	1年生・若草焼きいも、SC来校	25	金	終業式・大掃除
10	木	5年生びわ湖フローティングスクール	26	土	真野っ子さむ塾（真野学区社会福祉協議会主催、真野公民館）
15	火	ALT来校	28	月	冬季休業（～1月5日） 3学期始業式：1月6日
21	月	4時間授業、個別懇談会①	※懇談会については、後日案内を配布します。		

卒業式の日が決定しました

本年度の卒業証書授与式は令和3年3月19日（金）に行います。

現時点では、どのような式が行えるか不透明ですが、現在の状況から、例年どおりの卒業生・在校生・保護者・来賓が体育館に一堂に会した形式は難しく、昨年度のように卒業生とその保護者、教職員のみでの実施の可能性が高いのではないかと考えています。これについては、教育委員会からの指示が出ると思っていますので、通知があり次第改めてお知らせします。

6年生の保護者の皆様は、上記日程を予定に入れていただきますようお願いいたします。

学習アシスタントが配置されました

滋賀県の教育活動支援事業で本年度末まで「学習アシスタント」が配置されることになりました。昨年度まで読み聞かせサークル「こうまのさんぽ」の代表を務められていた杉本陽子さんに、11月9日（月）から勤務していただいていますので、紹介させていただきます。

年度当初から学校生活支援員として勤務していただいている杉本加津美さん、水谷幸子さんと同様に授業の補助や子どもたちの支援にあたっていただきます。

体調管理に十分注意してください！

朝晩は寒く、日中との気温差が大きくなってきました。子どもたちはセーター等の上着で調整しています。この時期になると、登校時にズボンや上着のポケットに手を入れて歩く姿を見かけます。ポケットに手を入れて歩くと、転倒したとき等手がつかずに大きな怪我につながり、大変危険です。手袋をはめる等各ご家庭でも登校前に一声かけていただくと、けがの防止につながります。

また、これからの季節、空気が乾燥します。冬の低温と空気の乾燥によってウイルスの生存期間が延び、活性化して飛散しやすくなります。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの危険性が高まります。学校では引き続き、3密を避け、マスクの着用と手洗い、換気の徹底を呼びかけるとともに、コロナ対策の緊急予算で購入した空気清浄機付きの加湿器を有効に活用して参ります。

「第3波」に入ったと言われていています。各ご家庭では、引き続き登校前の検温と健康観察をよろしく願います。発熱や風邪症状が見られる場合は無理な登校を控えていただくようお願いいたします。また、発熱が続く場合、新型コロナウイルス感染症の疑いも視野に入れながらご対応いただきますようお願いいたします。お子様はもちろん、同居のご家族の健康状態で気になる事は、念のため学校にもご連絡いただきますようお願いいたします。

随時更新しています！真野小学校Webページをご覧ください！

学校行事や学習活動の様子を随時紹介しています。是非ご覧ください。

真野小学校

検索 

URL: <http://www.otsu.ed.jp/mano-e/>